



# 梅島小だより

## 予想すること

校長 江原 敦史

夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声に戻ってきて、大変うれしく思います。

教室前には、夏休みの自由研究がたくさん展示されています。

一つ一つを見ていると、子どもたちのいろいろな思いや考えが書かれていて、時間を忘れてしまいそうです。ご家庭でのご支援・ご指導に感謝申し上げます。

子どもたちががんばった自由研究はどれもすばらしいものばかりです。この場をお借りしていくつか紹介したいと思います。紙面に限りがありますので、3人のみなさんの作品を紹介させていただきます。

### 1 「プリンが固まる秘密について」(5年Sさん)

Sさんは、プリンがほどよく固まることに疑問を感じ、実際にプリンを作りながら、固まる秘密を調べました。Sさんは、はじめに卵・牛乳・砂糖でプリンを作ったあと、固まることにどの成分が関係しているかを予想し、①卵の量を半分にする ②牛乳の量を半分にする という方法でプリンを再度作りますが、いずれもうまく固まりません。そこで、市販のプリンを購入し、成分を比較してみました。すると、「ゼラチン」が共通に使われていることがわかりました。次に「ゼラチン」を最初の材料に加えてみてプリンを作ります。すると、なめらかさがなくガチガチに固まることを確かめます。これらの実験から、「卵と牛乳はプリンが固まるのに必要である」ことを結論付けます。そして、そのメカニズムを本によって調べることで、「砂糖」もプリンがきれいに固まることに関係していることをつきとめました。

### 2 「セキセイインコについて」(5年Uさん)

Uさんは、家で可愛がっているセキセイインコについて、自分で問いと予想を立てて調べてみました。「セキセイインコの羽には、どのような種類があるのだろうか」という問いには「自分を保温するような羽や、身を守るような羽があると思う」という予想を立てました。そして、実際の羽も観察しながら調べてまとめていきます。「羽は、どのような役目を果たしているのだろうか」という問いには「羽の種類によって、役目が異なると思う。また、体調を管理していると思う」という予想を立てます。「鳥のつばさは、どのような働きをしているのだろうか」という問いに対しては「飛ぶこと以外にも、鳥にとって重要な働きをしていると思う」という予想を立てて調べて「鳥にとってつばさや羽は、保温する働きや、からだを守るという、鳥にはかせない働きをしていることがわかった」とイラストも使ってまとめました。

### 3 「味について」(6年Wさん)

Wさんは、人間の舌が「にがみ」「あまみ」「すっぱみ」「からみ」「うまみ」の5種類の味が分かることと、食べ物の味をこの5種類の味で感じていることを知ります。そこで、5種類の味の組み合わせで、いろいろな味を作ることを思いつきます。「キュウリ」「トマト」「メロン」「イチゴ」の味が、5種類の味のどのような組み合わせでできているか調べます。そしてまず、キュウリとメロンは、「あまみ」「うまみ」以外は味の特徴が似ているので、キュウリに「あまみ」を加えるとメロンの味に近づくと予想します。そこで、キュウリにはちみつを足して味わってみました。すると、ほんわかとメロンの味がすることを確かめます。同様に、トマトに砂糖を足してイチゴの味に近づくことも確かめます。さらに発展で、「プリン+しょう油=うに」「牛乳+リンゴジュース=いちごミルク」などの味の組み合わせも確かめていきました。

この3人の研究に共通することがあります。それは問題を解決する前に「予想」したことです。

3人のみなさんは、「これは、こういう理由でこうなのではないか」「これをこうすると、こういう理由でこうなるだろう」という予想を自分で考えてから、それを確かめたり、調べたりしています。

3人のみなさんの自由研究のポイントはここにあります。とてもすばらしいと思います。

経験や学習したことをもとに自分の考えを組み立てる「予想」という頭の働きは、「思考」することにほかなりません。同じようなすばらしい研究がほかにもたくさんありました。誌面の都合で全てを紹介できませんでしたが、梅島小の子たちのいいところをたくさん見つけることができ、とてもうれしく思います。学校では、基礎学力の定着とともに、思考力を伸ばすような指導にも努めていきたいと思っています。

